



「国際交流＝英語」というイメージがありませんか？ でも、最近の国際交流は少し様変わりしているようです。

旧社町がオリンピックア市と姉妹都市提携を結んだ昭和五十六年頃は、日本に住む外国人の割合はわずか0.57%（昭和五十五年国勢調査）でした。その後、外国人労働者の増加などにより国籍の多様化が進むとともに割合は急速に上昇し、平成十二年には初めて1%を超えました。

加東市の外国人登録者は三月末現在で二十四か国約三百十人、総人口の約0.8%を占め、多文化が共存する社会が進んでいることがわかります。特に兵庫教育大学（下久米）には多くの留学生が在籍し、国際色豊かなまちと言えます。

そんな中で求められる「国際交流」とは、異なる文化を知り、また日本を紹介して互いに認め合う関係づくりに代わるでしょう。



フレンドシップファミリー対面式

平成18年度 予定事業

姉妹都市との交流

イベント

開催時期

ホリスター市親善訪問団派遣 6月22日～29日
カウボーイの祭典「ロデオ・ショー」を見学したり、パレードに参加します。

オリンピック市交換留学生派遣 7月24日～8月7日
ホームステイや学校訪問などでオリンピックの青少年と交流します。

オリンピック市親善使節団受入 10月12日～16日
オリンピック市民が来訪し、まちの祭りなどに参加します。

青少年シェラン市親善訪問団派遣 平成19年3月
ホームステイや学校訪問などでシェランの青少年と交流します。
注）ホリスター市への学生派遣は、今年度は実施しません。

他にもこんな事業が行われます

イベント

開催時期

フレンドシップファミリー事業 毎年4月から1年間
兵庫教育大学留学生と家族ぐるみの交流をします

国際交流サロン 5月・7月・9月・11月
兵庫教育大学留学生との交流会 第3木曜夜
ウズベキスタンや韓国などの外国文化を紹介してもらいます。

小学生対象事業 夏休み
小学生を対象として、国際理解や英会話の教室を開きます

ティディベア・プロジェクト 11月～2月
ぬいぐるみと日記の交換を通じて、姉妹都市の小学生と交流します。

国際料理教室 在住外国人を講師に
異国の料理を習います 11月頃

クリスマスパーティー 軽食をとりながら
外国人と交流します 12月

英語落語会 日本の古典芸能・落語
を英語で味わいます 平成19年2月頃

姉妹都市とは？

旧社町、旧滝野町、旧東条町はそれぞれオリンピックア市、ホリスター市、シエラン市と姉妹都市提携を結び、学生や一般住民の相互訪問が活発に行われてきました。加東市でもこの関係

加東の国際交流

加東市では現在、「加東市国際交流協会設立準備委員会」が、様々な活動を展開しています。その柱となるのが、姉妹都市市民との交流と兵庫教育大学留学生との交流です。

を引き継ぎ、三つの都市との交流が始まっています。

姉妹都市を辞書でひくと、「親善と文化の交流とを目的として協定を結んだ都市」とあります。相互訪問は、ホームステイや祭り参加などを通じてアメリカの生活を知り、また日本の伝統を再確認する場として喜ばれています。英語に不安を感じても、一対一のふれあいの中で、友情という絆が芽生え、はるか太平洋を越えたおつきあいが続いています。

今後の訪問団派遣・受入スケジュールは未定ですが、より充実した機会を提供できるよう、調整していきます。

オリンピック市合唱団「キャピタルプレイハウス」を歓迎



社中学校で歓迎セレモニー

4月27日、姉妹都市であるオリンピック市の芸術団体「キャピタルプレイハウス」のキッズインコンサートの団員など約60人が加東市を訪問。市長表敬訪問の後、社中学校で歓迎セレモニーが開かれました。「キャピタルプレイハウス」による合唱や社中学校吹奏楽部による演奏、会場全員での「ふるさと」の合唱などが行われました。給食を体験したり、清水寺見学などもあり、団員のみなさんは、喜んで帰路に着かれました。

このように姉妹都市と積極的に交流が行われています。

ますので、ぜひ一度ご参加ください。
また加東市教育委員会では、市内小中学校で英語指導を行う青年を姉妹都市から招聘しています。現在、ホリスター市からニコール・アングリンさん（滝野中学校）、オリンピックア市からジミー・リンさん（社中学校）とサーモン・ルツさん（東条中学校）の三名が親善大使として生きた英語と国際理解教育に活躍されています。

日本にいなながら国際交流 ができます。

英語を使わない活動が盛りだくさんに行われているのが、加東市の魅力です。ほとんどが流暢な日本語を話す兵庫教育大学留学生と、一年間ペアを組んで家族ぐるみの交流をする「フレンドシップファミリー事業」。地元にながら外国の様子を知ることができる」と好評です。留学生にとつては頼りになる日本のお父さん、お母さん。毎年四月と十月にファミリーを募集します。

「国際交流サロン」は留学生や地域在住の外国人と出会うチャンスです。民族衣装を試着したり、みんなでスポーツをしたりと毎回テーマを変えています。今年度は七月・九月・十一月に開催します。軽食をとりながら、自然に会話がはずんでいます。

他にも、異国の料理を一緒に作る「国際料理教室」や小学生を対象とした英会話教室など、異文化にふれるイベントが目白押しです。



兵教大留学生と桜まつりを見学

姉妹都市を紹介します

カリフォルニア州ホリスター

<http://hollister.ca.gov>

位置 サンフランシスコ南東 160 km

面積 16.75 km² 人口 34,413人(2000センサス)

緑豊かでゆとりある清潔感あふれる町。シリコンバレーのベッドタウンとして宅地開発が進み、人口が急増している。

ワシントン州オリンピア

<http://www.ci.olympia.wa.us/>

位置 シアトル南 100 km

面積 46km² 人口 42,514人(2000センサス)

ビュージェット湾と緑に囲まれた風光明媚な町。オリンピア湾、州政府、3つの大学がある。

ワシントン州シェラン

<http://www.cityofchelan.com/>

位置 シアトル東 200 km

面積 12km² 人口 3,522人(2000センサス)

美しいシェラン湖の周辺に広がる、景色の素晴らしい観光・リゾート地でりんごの産地としても有名。



また、一年の終わりには、日本の古典芸能・落語を英語で味わう「英語落語会」を開催し、楽しみながら国際理解を深めます。伝統文化に触れ、同時に笑いは世界共通だと感じます。

ぜひ、みなさんも 参加してください。

いろいろな事業が行われたなかで、昨年度は次のような感想やご意見がありました。

フレンドシップファミリー事業

「留学生と受け入れ家族、お互いの都合に合わせて交流ができるのがいいですね。」など、参加された大半の方が引き続きの参加を希望されました。留学生からも、日本の生活習慣や文化を勉強することができた。「親切に支

援していただいた。外国人学生がこの国で心配なく暮らす手助けとなる良い事業。」といった好意的な意見をいただいています。

訪問団受け入れ

「5日間は長いと感じましたが、終わってみるともつと長くてもよかったです。」「日本にいなながら外国の知らない事も再認識できました。子どもにとつてもよかったです。」など、満足された様子です。「新しくできた「家族」に会い、今年ホリスターを訪問します。」とつなぐりは深まっています。

このように、国内外でたくさんイベントが展開されています。ぜひ一度のぞいてみませんか。詳しくは、加東市国際交流協会設立準備委員会事務局 加東市企画部秘書広報課(☎43・0386)にお問い合わせください。

第2回 加東市国際交流サロン参加者を募集!!

兵庫教育大学留学生など市内在住の外国人の方々を招き、相互の文化を学びながら交流を深める「加東市国際交流サロン」の参加者を募集しています。

日時：7月20日(木) 18:30～20:00

場所：兵庫教育大学食堂

内容：韓国文化の紹介・食事と懇談

講師 兵庫教育大学留学生 安 知相 さん御夫妻

締め切り：7月5日(水)

参加費：会員1,000円、非会員1,500円、中高生500円、小学生100円、幼児・外国人無料

申し込み・問い合わせ 加東市国際交流協会設立準備委員会 加東市秘書広報課 <社庁舎>
☎43・0386 FAX 42 - 5633 Eメール hisho@city.kato.lg.jp

韓国料理の試食も
あります



昨年の様子